

「課題解決先進県・徳島」の“挑戦”

～拳県一致の知恵で“ピンチをチャンスに！”～

徳島県知事 飯泉 嘉門

「課題解決先進県・徳島」が展開する新次元の公共サービス！

全国に先駆け課題に直面する「課題先進県」

◆ 「三位一体改革」による財政悪化

- 過去の国経済対策に呼応 → **公債費が2.5倍に**
366億円(H3) ▶ 918億円(H20)
- 地方交付税削減 → **財政調整的基金の枯渇**
H16 ▲227億円 (一般財源総額の1割相当)

◆ 急速に進む「少子高齢化」

- 合計特殊出生率の低下 (H17:1.26)
国同様、最低値を記録！
- 2020年(H32)「65歳以上人口」ピークに！
全国のピークは2042年

◆ 地上デジタル放送への移行

- 区域外波の視聴が**困難に！**
(アナログ時:10ch → デジタル時:3ch)
- 「便利」なはずの地デジで、逆に「不便」に！

課題解決の処方箋・徳島モデルを創造・実行・発信！

ピンチを
チャンスに！

◆ 一歩先を見据えた行財政改革

・ 職員数の推移

平成15年度	平成28年度	638人削減 (▲17%)
3,754人	3,116人	

削減するだけでなく、活かす行革！

・ 若者の雇用創出

新規採用職員枠 **6年連続三桁・過去最大規模**

年度	H20	~	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人数	35		106	109	104	110	150	160

・ 実質公債費比率 **18.0%以上**

H21:起債許可団体へ → H28:脱却へ

・ 財政調整的基金残高(財調基金+減債基金)

H21末:80億円 → H28末:600億円+α

◆ 全国トップクラスの子育て支援

- 「乳幼児医療費助成」の対象拡大
→ H18:7歳未満まで H24:小学校修了まで
- 「少子化対策緊急強化基金」創設:H26
→ 県単独で「10億円」積立
- 第3子以降「保育料無料化」:H27
→ 国への政策提言により、H28政府予算化

H27合計特殊出生率 1.55 (全国1.46)

伸び率(+0.09) 全国第2位！

◆ シルバー大・大学院卒業生による社会貢献

- 生涯現役
- 観光ガイド、防災士、ICT講師など
- 資格取得を卒業条件

◆ 「全県CATV網」の整備

→ 世帯普及率 88.6%(H27) **4年連続日本一！**

全国屈指「光ブロードバンド環境」を活用！

地方創生のモデル！「サテライトオフィス」

- 人口減少の克服・東京一極集中の是正！
- 6市町にICT関連企業「34社」進出！



あわえ
(美波町)

古民家活用

神山町、美波町の人口
「社会増 > 社会減」

～新たな働き方
「テレワーク」実践～

地方創生
をリード！

- ◆ 人口減少社会に対応した小中一貫教育「徳島モデル」
- ◆ 県営住宅集約化PFI事業
- ◆ とくしま“実になる”事業
- ◆ 歳出の中から歳入を生み出す取組み

部局間連携・六位一体で

人口減少社会に対応した小中一貫教育「徳島モデル」

人口減少に伴う学校の統廃合
20年間で**91校(公立小中)**が減少

通学の**長時間化**
地域コミュニティの**崩壊**

ピンチをチャンスに!

小規模校維持 多様な学びの保障 中一ギャップ解消

チェーンスクール (学校「分散」型)

地理的に**分散**した小・中学校
が人的・物的に**連携**



◆導入経緯(阿南市椿町地区)

- ・児童生徒数の減少
- ・岬の突端(曲路・極狭路)
- ・校区外への通学困難



学校存続へ
(2小・1中)
+
教育の質向上

H25年度 1地域 → H28年度 5地域

パッケージスクール (学校「一体」型)

同一地域で学校や保育所、
との**交流・連携**



◆導入経緯(牟岐町牟岐地区)

- ・施設の老朽化
- ・児童生徒数の減少
- ・津波の危険回避

高台へ集約
→ 1小・1中+保+地域施設
住民参加の学校運営

H25年度 1地域 → H28年度 2地域

～特色ある取組～ 連携(ヒト・モノ有効活用)で新たな**“付加価値”**を

小中合同学習の充実

- ◆合同運動会・スポーツテスト
⇒ 50m走・球技大会が可能に

テレビ会議システムの積極的活用

- ◆中から小へ**英語授業**・小と小の**算数授業**
中学校生徒による小学生への**読み聞かせ**
- ◆小中教員合同研修⇒**居ながらにして交流**



テレビ会議による合同授業



小中合同授業(外国語)

英語を核とした学校づくり

- ◆小中合同 外国人観光客への観光案内
- ◆小中合同 英語授業
⇒「英語が楽しく学習出来るようになった」と保護者の声

保小中教員の相互乗入れ授業の充実

- ◆小一プロブレムの解消
- ◆小から保への**先取り指導**
- ◆中から小への**専科教員の指導**(英語・算数・体育)



小中教員による授業

地域人材がティーチャーに

- ◆保小中合同避難訓練
- ◆学校応援団との連携強化
⇒ **老人クラブ・漁師等が授業に参加**
(教師と**チームティーチング**、社会・家庭科等)



合同避難訓練

教材・施設の共有

- ◆体育館・運動場・特別教室等の共有⇒**保・小・中運動会**

県営住宅集約化PFI事業

徳島市内の県営住宅

- ◆老朽化の進行・耐震不足
- ◆入居者の高齢化

切迫する南海トラフ巨大地震
30年以内の発生率71%

民間ノウハウ・資金による

コスト削減・効率運営
直面する課題対応へ施設集約

ピンチをチャンスに!

徳島ならではの住宅整備(耐震化+新機能)

費用負担等の軽減

◆増大する「維持管理費用」への対応

徳島市内に点在する12団地(36棟) ⇒ 3団地(3棟) 一括整備

◆PFI手法を用いた「一括発注」による事業実施

- ・設計施工⇒県民の利便性の追求やコスト縮減
- ・移転支援⇒的確かつ迅速な業務遂行
- ・維持管理⇒安全・安心な建物管理で迅速な対応

◆公営住宅としては、「全国初」となるBOT方式採用

- ⇒従来型事業と比較し、「費用負担 30%カット!」
- ・事業期間中、民間所有物となるため県の負担が軽減

【BOT方式】～Build Operate Transfer～

事業者が建設(B)、管理運営(O)、契約期間後、公共に所有権移転(T)

地域経済の活性化

◆LED照明採用 ※LED関連企業132社

⇒ 全ての照明器具のLED化で、環境負荷を低減

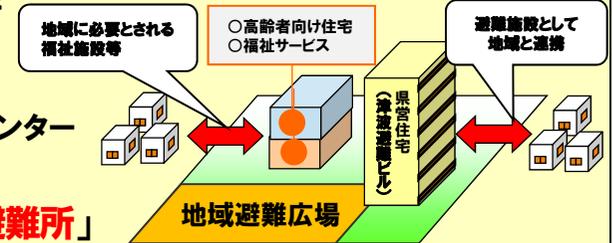
◆県産木材使用

⇒ 公共建築における、木材利用のモデルを提案

地域包括ケアシステムのモデル

◆高齢者や障がい者の支援施設の併設

- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・小規模多機能型居宅介護事業所(通い・訪問・宿泊)
- ・居宅介護支援事業所
- ・訪問介護事業所
- ・無床診療所
- ・障がい者生活支援センター



◆非常時には「福祉避難所」

- ・津波避難ビル:4階以上の廊下・屋上に1,500人収容
- ・屋上備蓄倉庫:防災用品約3日分備蓄
- ・防災拠点となる「地域避難広場」を提供

平時・災害時のリバーシブルな住宅へ

「健康」な
生活の実現

「安全」な
生活の実現

新住宅



福祉施設を併設

- ・サ高住
- ・小規模多機能ホーム
- ・診療所



「とくしま“実になる”事業」+「歳出の中から歳入を生み出す取組み」

固定観念からの脱却

歳出と歳入の連動
施策の推進≠財政負担

県職員のマンパワーを活用

「一石二鳥ならぬ、三鳥、四鳥」の効果

民の「稼ぐ力」を活用

「効率的」で「多様な効果を重視」
地方創生をリードする
未来志向の行政モデル！

「県民サービスの向上」と「喫緊課題解決」に
新たな行政手法で果敢に挑戦！

とくしま“実になる”事業

ゼロ予算事業

H28:281事業

◆固定観念からの脱却、職員のマンパワーが施策を推進
⇒ **予算ゼロ！職員“知恵と汗”こそ施策！**

県民との協働推進事業

H28:107事業

◆民と官が協働し互いにメリットを生み出す新手法
⇒ **県民参加で施策を推進！**

県民スポンサー事業

H28:36事業

◆県民がスポンサー（モノ・人・お金）となり
「公」を「民官」で共に担い“県民総活躍”を実現
⇒ **県民の“協力したい”を形に！**

将来コスト軽減事業

H28:15事業

◆単年度予算の枠を撤廃！
中長期的な視野で「戦略的」トータルコストの削減
⇒ **持続可能な“未来への先行投資”！**

既存ストック有効活用事業

H28:9事業

◆資産を有効活用し、県民ニーズを踏まえた進化！
⇒ **新たな価値と機能を加え施設を再生！**

歳出の中から歳入を生み出す取組み

◆歳出は全て「新たな歳入」の種
生まれる効果を最大限引き出す究極の行政手法 ⇒ **縦割りからの脱却！費用を収入へ転換**

とくしま“実になる”事業

ゼロ予算事業

農工連携スタディーズ推進事業

もうかる農業を担う6次産業化人材育成

- ◆徳島大学工学部専門課程アグリテクノサイエンス創設
- ◆県職員(農・林・水産)による講義 H27:26人・28回

H28.4 徳島大学「生物資源産業学部」新設 **全国初!**
 ~専門高校から新たなキャリアパスを実現~ **6次産業化学部**



県民との協働推進事業

河川安全・安心協働モデル事業

頻発するゲリラ豪雨・土砂崩れ
 ⇒ **堆積土砂**による浸水被害



民間業者へパッケージ支援

~先進的な堆積土砂の総合対策

- ◆砂利採取業者へ土砂採取のインセンティブ **供給力向上**
 採取料免除、掘削・運搬への補助
- ◆公共工事等で新用途 **需要創出**
 農地高上、高速道盛土等

経費
約85%カット

一石二鳥ならぬ三鳥の「**海部川モデル**」全県展開!

県民スポンサー事業

とくしま協働の森づくり事業

放置森林の拡大 ⇒ 温暖化対策・水源涵養が必要

県・民間・森林づくり機構の三者協定 **協定面積1,295ha**

参加企業・団体123社、寄附金計1億429万円

- ◆寄附を森林整備に活用 ◆県民・行政の植林作業
- ◆「**森林CO2吸収量証明書**」の交付 ◆貢献活動PR

将来コスト軽減事業

歩行者用信号機のLED化

高齢化社会の進行 ⇒ 視認性・耐久性向上が必要

- ◆産官学による**信号機用LED電球開発**
- ◆リース方式導入 **県内LED化100%**
消費電力1/9に節減、経費年800万円の削減!

既存ストック有効活用事業

青少年センター施設整備

施設の老朽化 ⇒ 安全性の低下・利用者の減

- ◆PFI活用⇒コスト削減・柔軟な対応
- ◆ニーズの高い施設へ**リニューアル**
 ⇒**屋内プール**を**スポーツエリア**へ
 阿波おどり、フットサル等



県民ニーズにマッチした新活動拠点!

歳出の中から歳入を生み出す取組み

自動車運転免許センター等移転整備事業

旧空港ターミナル



施設整備は
 「解体・新築」から
 「リニューアル」へと
発想を転換

- 旧空港ビルを活用し複合機能施設として整備
- ◆**エプロン**を技能試験コースへ **撤去費不要**
 - ◆**広域防災拠点の新設** ← 県外から徳島へ
 - ◆他機関(交通機動隊、広域自動車警ら隊)を集約
 ⇒**緊急事象**に迅速に対応可



- ・跡地の売却等による**歳入の確保!**
- ・現地建替より
30億円経費削減!